

「北風」 やっかいなやつだな。——そら。……(手をひっぱる)

ブウツ ……(立ちあがる)

「北風」 (ブウツの顔をみて) おまえは?

ブウツ ブウツです。

「北風」 ブウツ?——おまえは、ああ、このあいだ、おれがテーブルかけをやった子どもじゃアな
いか。

ブウツ ええ、そうです。——あのブウツです。

「北風」 (きげんをわるくして) そのブウツがなにしにきた?——まだなにか用があるのか?

ブウツ (いいわけなさそうに) ぼく、——ぼく、あれをなくしてしまっただんです。

「北風」 なに、なくした?

ブウツ ええ。

「北風」 どうしてなくした?——せっかくやったものをおまえは……(はらをたててブウツの手をつかむ)

ブウツ (からだをすくませる) いいえ、ぼく。——ぼく……

「北風」 返事をしろ、——どうして、なくしたか返事をしろ。——返事をしないと、きさま、そのまんまからだを凍^{こら}らしてしまっぞ。

「北風」 そういうかいわないに、雪ちらちらとふってくる。

ブウツ いいえ、ぼく、自分でなくしたんじゃないんです。——とられたんです。——宿屋でとられたんです。

「北風」 ええ、うそをつくな。

ブウツ うそじゃありません。ほんとうです。——ほんとうにとられたんです。

「北風」 とられたというしよこがあるか?——とられたというなにかしよこがあるか?

ブウツ あります。——あります。……

「北風」 あるならいってみろ。(手をはなす。——雪やむ)

ブウツ その宿屋じゃア、このごろ、あのテーブルかけから毎日たべるものを出しています。——ぼく、見ました。——ちゃんと見てきました。……

「北風」 それはどこの宿屋だ?——どこのなんという宿屋だ?——すぐにいって取り返して来てやる。

ブウツ いいえ、ぼくが行きます。——行くのはぼくが行きますから、取り返しかたを教えてください。さい。——どうやって取り返したらいいでしょう?